## 公益財団法人全日本剣道連盟剣道審判員選考規則

(目的)

第1条 この規則は、公益財団法人全日本剣道連盟(以下「全剣連」という。)が主催又は主管する剣道大会における審判員の選考に関し必要な 事項について定める。

### (審判員選考委員会)

- 第2条 全剣連に、全剣連剣道審判員選考委員会(以下「審判員選考委員会」 という。)を置く。
  - 2 審判員選考委員会は、全剣連が主催又は主管する大会の審判員を選考する。
  - 3 審判員選考委員会は、全剣連専門委員会である普及委員会、同試合・ 審判委員会及び同女子委員会の各委員長のほか全剣連の会長(以下「会 長」という。)が委嘱する理事2名の合計5名で組織する。
  - 4 審判員選考委員会の委員長は、会長が委嘱する理事2名のうちから会長が指名する。
  - 5 審判員選考委員会の委員の任期は、専門委員会である普及委員会、試合・審判委員会又は女子委員会の委員長である委員については、それぞれの専門委員会委員長の任期、理事である委員については理事の任期が終了するときまでとする。

#### (審判員候補者名簿の作成)

- 第3条 試合・審判委員会は、大会毎に審判員候補者名簿を作成する。
  - 2 試合・審判委員会は、大会の趣旨を踏まえ、大会毎に年齢、所属都道 府県剣連、称号・段位等を勘案して、候補者を選考する。

## (審判員の選考)

- 第4条 審判員選考委員会は、審判員候補者名簿に基づいて審判員を選考し、 審判員の中から審判長及び試合場毎の審判主任を選考する。
  - 2 会長は、前項の選考に基づき、審判長、審判主任及び審判員を委嘱する。

# 付則

この規則は、令和2年10月12日から施行する